

地区研修リーダーとして

地区研修リーダー

相原茂吉

(川越 RC)



2023-24RI 会長のゴードン R マッキナリー氏のテーマは「世界に希望を生み出そう Create Hope in the World」です。それを受けて RID2570、2023-24 高丹ガバナーのテーマは「希望を語ろう We are Rotary, together」であります。

この together という言葉は、下記の様にアトランタの理事会で決まった Rotary のビジョン声明の巻頭に掲げられている言葉であります。

“Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change-across the globe, in our communities, and in ourselves.”

「私たちは世界で地域社会でそして自分自身の中で持続可能なよい変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」

そしてこのビジョンのもとに定められた4つの行動計画。その行動計画 (action plan) の主軸として、高丹エレクトは、DEI (多様性・公平・包摂性) を重要な位置付けとし、地区やクラブの活性化、そして地区内ロータリアンに向けて「希望」のベクトルの共有を方針決定致しました。ちなみに、DEI は 2022 年手続き要覧にロータリーの基本理念の一つとして新たに掲げられたのであります。

1905 年アメリカで発祥した Rotary。その背景には第 1 次産業革命がもたらした「荒廃」があり、P ハリスが求めた「人としての心の温かさ・ぬくもり」に原点があります。現在、ウクライナ戦争など地政学的リスクが非常に高まっている中、日本人が愛した Rotary の概念と RI の方針との距離が徐々に広がりつつある事実は否定できません。

国際人である高丹ガバナーの視点は、世界の中の日本。そこで私は研修リーダーとして、今なぜ Rotary なのか、世界がグローバルから保守に変化しつつある中、together の意味する必要性・重要性。この事を、歴史を振り返りながら、皆さんと一緒に再確認し、高丹年度において、私たちのロータリーがよりいっそう充実した素晴らしい組織となるよう鋭意努力して致してまいりたいと存じます。

具体的には地区研修リーダーとして次の 6 項目を主体に、ガバナーおよび各地区役員の皆様と共に進めていきたいと思えます。

- ① DEI の理解、その原点から。日本における DEI。
- ② 希望を共有できる地区組織の構築。
- ③ 地区活動とクラブの活性化を目的とした一体感。「甦れ 2570 プロジェクト」
- ④ RLI の活用
- ⑤ 日本における職業奉仕の再認識
- ⑥ メンタルヘルス・奉仕の理念

どうぞよろしくお願い申し上げます。